

院内トリアージ実施のお知らせ

当院では院内トリアージを実施しております。

院内トリアージとは、緊急度の高い患者さまを優先して治療する体制です。時間外、深夜、休日の来院時 10 分以内に、看護師等が患者さまの状態を確認させていただいた上で緊急度の判定を行い、緊急度の高い順に診察をさせていただきます。その場合、順番が若干前後することもございますが、ご了承くださいませようをお願いいたします。

その後、待ち時間が長時間になるような場合は一定時間経過後に再度緊急度を確認させていただきます。

なお、お待ちの間に症状に変化がございましたら遠慮なくお申し出ください。

救急診療時間帯の重症患者様のすみやかな治療のためにご協力をお願い致します。

院内トリアージ実施基準

令和8年6月1日策定

1、目的

来院された患者の重症度、緊急度を判断し、優先順位を付けて、生命の危機的な状態にある患者を早期に発見し適切な対応を行うことを目的とする。

2、判断基準

- ・トリアージは、患者来院後ただちに（10分以内が望ましい）救急外来にてトリアージ担当者が行う。
- ・トリアージによって、次の3段階に判断する。

赤：直ちに医師へ報告、診察、初療室へ入室し、治療処置を開始する

黄：待合室にて待機可能か否かを医師に報告、相談し決定する

緑：待合室にて待機可能。待ち時間が長い場合は再トリアージを行う。

* 身体的苦痛が強い場合：必要に応じて観察ベッドで待機してもらう。

- ・初回のトリアージ後、診察が始まるまで観察を継続し、必要に応じて（30分毎が望ましい）再トリアージする。

3、院内トリアージの流れ

1) 主訴の確認

2) トリアージレベルの判断

歩行の可否・呼吸の有無・呼吸数・脈拍・意識レベル

3) 問診

4、院内トリアージ手順（JTAS に準ずる）

レベル	色	区分名	緊急度	診療開始目安	再トリアージ（再評価）	主な状態
1	■ 青	蘇生	最重症	直ちに開始	継続的（常時）	心停止・重度呼吸障害・ショック
2	■ 赤	緊急	高緊急	10分以内	15分ごと	急速に悪化する可能性あり
3	■ 黄	準緊急	中等度	30分以内	30分ごと	症状強く、重篤化の可能性
4	■ 緑	低緊急	低緊急	60分以内	60分ごと	軽症だが治療が必要
5	□ 白	非緊急	非緊急	120分以内	120分ごと	軽微・慢性症状